

## 芦別高1年生が林業学習。枝打ち体験やハウスメーカー工場を見学



10月22日、芦別高校生の林業体験学習が市内の市有林などで行われました。

これは、高校卒業後の進路の一つとして就職を考えている生徒に林業の現場を体験してもらおうと、芦別高校が芦別木材協会の協力で実施したものです。

当日、体験学習に参加したのは、

1年生の男女29人。午前、市内黄金町の市有林で、樹木の健全な生育に欠かせない「枝打ち」が行われ、生徒は一人ずつのこぎりを手にトドマツの枝を切り落としました。また、午後からは岩見沢市内にある住宅メーカーの工場を見学。生徒たちは有意義な一日を過ごしていました。

## まちづくりをテーマに芦高生と市議会議員が懇談会

11月9日、「芦高生と市議会議員とのふるさと懇談会」が、市議事堂で開催されました。

これは、将来を担う若い世代に、まちづくりへの関心を高めるとともに、議会や市政の仕組みを知ってもらおうと、市議会が企画、主催したもので、芦別高校の1年生86人が参加しました。

懇談会は、高校生の代表12人が議員役となり、「期待する芦別の将来像」や「若者向けの街づくりへの提言」などを市議会議員にただし、市議会側がこれに答えるかたちで進められました。質問や意見を述べた生徒をはじめ、傍聴に回った生徒も質疑応答のやりとり真剣に耳を傾けていました。



## 恒例の子ども餅つき会が開催され、つきたてのお餅に舌鼓



11月10日、子ども餅つき会が子どもセンターつばさで開催され、約100人が参加しました。毎年恒例の行事ですが、今年は例年より1か月早めの開催。

今年も新城町の農家から、もち米30kgの寄贈を受けたほか、本町地区子ども育成連合会や民生委員児童委員協議会、更生保

護女性会、母親クラブのメンバーが参加し、子どもたちをサポートしました。

会場には二つのうすが用意され、子どもたちが交代で力いっぱいきねを振るい、紅白の餅をつきました。つき上がった餅は、お汁粉やきな粉をまぶすなどで笑顔で味わっていました。

## 今年で25回目。全市親子ドッジボール大会が開かれる

11月18日、全市親子ドッジボール大会が市総合体育館で開催されました。ドッジボールをとおして親子の対話を深めるとともに、地域の仲間づくりと青少年の健全育成を図ることを目的に毎年開催され、今年で25回目となりました。

当日は、本町、上芦別、西芦別、

野花南の各地区から小学生と大人で編成された親子チーム6チーム、中学生チーム5チームの計11チーム、142人が参加しました。

試合では、巧みなボール回しで相手を翻ろうしたり、チームワークの良さが光るチームなど、会場は熱気にあふれていました。

